

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
今後への期待	計画全体への期待	1	1	行政と市民の両方が一緒になって面白いと思えるイベント等ができ、文化活動をしたい人・享受したい人が共に充実した場を得て、しずおか全体が活性化することを期待します。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		2	2	通りかかったら偶然出会った、みたいなことがたくさんあると良いと思います。	引き続き「まち劇場」を推進し、まちなかなどで多様な文化事業が行われるよう努めていきます。
		3	3	「文化でつながるまちづくり」において、さまざまなコミュニティや個人が、ゆるやかにつながりながらも時には個々でもいられるような公共の余白のような場所(時間的な制約も受けない)ができたらいいなと個人的には考えています。また、「文化でつながるまちづくり」は静岡の温和でゆるやかな風土とマッチしていると思うので、期待も大きいです。	施策8では、サードプレイスとして居心地の良い空間を創出するために取り組んでいく事としています。本市らしい取組となるよう、働きかけを行います。
		4	4	withコロナの時代に変化している現在では、文化交流に力をいれて静岡市の活力に繋げてほしいと思いました。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		5	5	市民みなさんの生活、精神面で、ますますしあわせになることを希望します。	ご意見ありがとうございました。
		6	6	文化活動はかかる経費が大きいかわりに実益が伴わないことが多いです。こういった自治体の支援はとてありがたいです。誰もが文化活動に親しみ、文化で賑わう街を是非実現して欲しいと思います。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		7	7	文化振興計画案を更に確立出来るよう、地域団体やイベント主催者等への支援を継続して行ってほしい。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
		8	8	文化をキーワードに人が育ちつながり、豊かな感性を育む環境が整う、そんな未来が楽しみです。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		9	9	文化芸術の分野は、興味のあるなし以前に、知られていないことが多いのかなと思います。好きな人はもともと音楽が好きだったり絵が好きだったりするでしょうが、その取っ掛かりも誰かしらの何かの影響があってこそこのことだと思うので、その何かのきっかけを作ることに大々的に取り組めるのは行政の特権な気がします。交流人口の増加・文化の継承は重たいテーマかと思いますが、計画案からは目標に対する展望が見えたように感じたので、これからも頑張ってください。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		10	10	計画案を読んで、広く浅く文化を普及することと同じくらい、文化の先鋭的・専門的領域への公的支援も重要なのではないかと気づかされました。第3期、第4期と文化振興計画が継続され、ますます静岡市の文化が深まり、発展することを期待しています。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		11	11	子どもたちに文化に触れる機会を設けることで地域に愛着ができ、後に県外の大学に進学しても静岡市に戻ってくることに繋がるのが期待できる。また、文化振興が都市の魅力・イメージアップ向上になり、それが移住を検討している方にも伝わっていくことにも期待したい。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
	具体的な内容への期待	12	1	Q3回答の延長になりますが・・・。 欧米の文化振興にはつきものの「パトロン制度」を静岡的に制度化できるといいですね！ その意味で、2022年度で実施した「TRY'22」はとてもよいかと思いました！ 実証実験的として単年度で終えるのではなく、なんとか継続予算として2023年度以降を続ける。そして秀逸な「文化創造活動」に対する表彰などもあっていいかもしれません・・・。また同時に「文化創造活動」を市内外に広める「文化振興大使制度」の創設もいいですね！よくある「有名人によるPR大使」ではなく、一般市民のなかから「文化振興大使」を任命して、かれらを通じ、静岡市のPRを日常的に実施してもらおう！実はこれが結構効くと思います！私は静岡おまちバル実行委員会を主宰しておりますが、バル店のカウンターは「市民文化振興大使」活動の場になりますよ^^！！	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		13	2	第2期文化振興計画における新たな視点として「文化でつながるまちづくり」が、それに伴う施策として「誰ひとり取り残さない機会の提供（施策6, 7）」「サードプレイスの増加（施策8）」が加えられることとなりました。新たな施策と第1期計画から継続となる施策の兼ね合いや施策の具体化としての事業について、静岡市としての積極的な姿勢に期待いたします。	ご意見ありがとうございます。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		14	3	○青少年への指導、事業への参加の点では、当協会では公立小学校の二校へ書写教育出張ボランティア授業を行って、一校は本年度で9年目となりました。スタッフを組んで書きぞめや書写教育を行っています。SDGsの叫ばれる前からサステイナブルを行っています。 ○また、市民文化祭、芸術祭を始めとして、広く市民の参加を促して書道展を毎年開催しています。 ◎市の振興計画案が決定次第、これにのっとり、更に活動を充実させたいと願います。	ご意見及びご協力をいただきありがとうございます。施策1では、文化体験のみならず、文化活動をされている方がその活動を継続していきやすいよう働きかけて参ります。
文化事業の在り方について	文化事業全般または具体的な文化事業の在り方について	15	1	大道芸やストリートでのイベントなど、街の魅力を活かした文化事業はマンネリ化しており限界があると感じる。日常的にイベントを行うのは一見賑わっているように見えるが、もう少し質の高い文化に触れる機会がほしい。多くの人が参加しないものでも、質の高いものを見る機会が市民の将来的な文化度をあげると思う。結局大都市に行かないとそういうものは見られない。費用対効果だけにとられない政策を期待しています。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
		16	2	昔からの静岡まつりや20年になる大道芸など大型イベントを中心に子供から大人・高令者も楽しめるイベントをたくさんやってほしい。障がいを持つ人も参加できるイベントが人の交流を盛り上げてくれる。他市に自慢できる静岡市にしてほしい。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
		17	3	数年間、静岡市民文化会館さん主催事業のラウドヒル計画に参加してきました。年代を越えた「普通の市民」が集まってこんなに面白いものがつくれるんだ、という誇りをもって活動を続けています。学生時代から参加したため、様々な大人との出会いを通じて「あんな30代になりたい!」「あんな70代になりたい…!」など、社会に出てからも好きなことを積極的にみつけて挑戦をつづける方々に憧れを抱き、社会人になる怖さがうすれていきました。キラキラした人になって、誰かに希望や夢を届けられる人になりたいなと思っています。老若男女だけでなく、障がいの有無をこえて心から信頼し合える「ラウドヒル計画」を運営してくださっていることに感謝の言葉が尽きません。本当にありがとうございます。今後も活動が続くことを願っています。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
		18	4	駿府城公園などの野外施設でのコンサート、イベント等を多く開催して頂きたいと思います。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
		19	5	文化活動に携わっている小さな一市民のお願いです。 ・仲間を集める支援（"しずおか気分、等への掲載の機会が与えられていない）を要望 ・よりよい講座を作るための支援（生涯学習センターの担当職員などの協力、専門担当職員のバックアップがあればいいと思う）を要望。仲間を増やして、文化活動の輪をもっともっと広めたい。静岡の地に文化を根づかせた偉大な先輩がいることを知ってもらいたい。	予算の都合上、紙面には限りがあるため、本市広報紙「しずおか気分」への市民活動の掲載は検討していません。 本計画では"文化コミュニティの醸成"を新しい取り組みとして検討しており、文化活動を行いたいと考えている人同士を繋ぐ支援策も検討したいと考えています。今後の事業展開の参考にさせていただきます。
		20	6	高校生の頃は演劇部に所属しておりましたが、社会人になってからは演劇から遠ざかっております。たまに発声練習をしたいななどと思うのですが、本格的な舞台となると体力的に厳しいなと感じています。（実はラウドヒルに参加しようとしたことがあったのですが、社会人になりたてだったこともあって練習についていけず…）気軽に参加できる取り組みがあったら嬉しいです。	施策6では、誰もが参加可能で継続的な体験ができるような文化事業の展開を検討しています。いただいたご意見を基に、事業展開を検討して参ります。
		21	7	自分としては、問1-4（地域への誇りや愛着の醸成）が一番なのですが、多小ですが、仲間と活動している1人としてみると、家以外で活動している人は、あまり多くないと思う。そういう人は、ほんの一部でしかないと思う。20代30代の人々の活動が、本当に少ないと思う。それは中学、高校のクラブ活動や課外活動で、文科系クラブの人口が少ない、クラブが少ない。受験に時間、余ゆうを奪われているのではないかと。→それが社会人になって、ベースの取り組みに大きく影響していると思う。そこから改革をしてほしい。	第3期静岡市教育振興基本計画との連携をしながら、静岡市教育委員会との調整を密にして進めて参ります。施策2で担い手育成に努めていく中で、段階に応じた事業展開ができるよう検討してまいります。
		22	8	東京都が出している「ぐるっとぱす」のような、市内の文化施設で使える割引券のセットや、施設までの公共交通機関と提携した割引乗車券などがあると便利だと思います。（すでにあったらすみません。）	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
23	9	もう少し、巡回展でもいいので、東京で開催されるような原画展や〇〇展といった質の高いものを静岡に呼んでほしい。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。		

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		24	10	<p>課題として書いてあったとおり、私個人の体感としても、「誰もが」文化事業に触れることが重要だと感じています。この事業へのタッチポイントを増やすことが、実行案に盛り込まれているかを注視しています。いまの計画ではまだ漠然としているので、今後の実行策に期待しています。</p> <p>「文化」とか「表現」とか「演劇/パフォーマンス」といったワードが出た時点で、気持ちが引いてしまう層にも、軽くで良いからまずは触れてもらえる工夫がどうしても必要だと思います。私はそれが、市民生活を充実させるものだと考えているので。</p> <p>ちなみに、なぜ充実させるものだと考えているかというと、演劇やパフォーマンスみたいなものって観て楽しむだけでなく、そこに存在するスキルが普段の生活を円滑に進めるものだと考えているからです。学校での発表にしてもそう、会社でのグループワークでもそう、ご近所付き合いでもそう、すべてに活かさせるスキルがあると感じているからです。</p> <p>そういう観点からいけば、そういったスキルを市民に落とし込む講座やイベントみたいなことが増えると、市民の実利にもなるような気がします。</p> <p>いずれにしても、本施策の思い切った実行に期待しています！</p>	<p>施策6のとおり、誰もが参加可能で継続的な体験機会の提供を実施していく事としています。アウトリーチ型の文化事業の実施やまちなかで偶発的に文化に触れる機会を提供するなど、多様な事業展開を検討して参ります。</p> <p>また、別途実施計画を取り纏め、より具体的な事業についてはそちらで示していきます。</p>
		25	11	<p>短い時間でも、体験できるような機会がたくさんあると良いなと思います。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>
		26	12	<p>まちは劇場の奨励金制度を継続して欲しい。障がい者や福祉と芸術・アートのような心豊かになるイベントや、静岡の歴史文化の再発見のようなイベントについては、支援して欲しい。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>
		27	13	<p>その為に具体的な市民への支援のあり方を具体的に出していただきたいです。文化活動は、金がかかるけど、金にならない。経済が縮小してくるとまっさきにきられるのが文化活動です。でも、最貧状態でも、歌を口ずさみ何かをつくって楽しむモノなんです。今までは、金持ちの道楽、金がある人のボランティア活動が主で、目立つこと、わかりやすい形が多く、提供する側の発想が主でした。これからは、実際にイベントを運営する側、そのイベントで楽しむ側に立ってどういう支援が必要か、見極めていただきたいです。</p>	<p>市民やアーティストの皆様への支援については、施策2で推進していきます。具体的な事業展開については、別途事業実施計画で纏めていきます。本計画では、施策6で「誰もが」参加可能な文化事業の展開も推進していきます。金銭的な面が文化活動の妨げにならないよう配慮した事業展開も模索していきます。</p>
		28	14	<p>竹久夢二の作品展示については、是非静岡市美術館で見たいです 環境もそうですし、そもそも五十嵐邸はアクセスがよくありません</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開を検討して参ります。</p>
		29	15	<p>気軽に音楽に触れることができる「まちかどコンサート」、とても素晴らしい事業ですが、平日昼間の開催が多いように見受けられます。現状では鑑賞できる人が限られるのではないのでしょうか。先日、休暇を取ってプレミアムフライデーコンサートに子どもを連れていきました。静岡駅北口広場に多くの人が集って鑑賞していましたが、鑑賞している人々のうち現役世代と見受けられる人は私だけ、年少者はわたしの子ども一人だけでした。</p> <p>開始時刻が最も遅いプレミアムフライデーコンサートであっても17時スタートでは、平日昼間に仕事をしている人はほぼ鑑賞できないと考えます。子どもたちにとっても、親の引率なしで鑑賞しに行くのはちょっと無理があります。</p> <p>ぜひ、せっかくの素晴らしい「まちかどコンサート」という催しを、休日昼間や平日のもうすこし遅い時間など、鑑賞しやすい時間帯にも開催してください。ほっとひといきコンサートも是非。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開を検討して参ります。</p>
	次世代育成について	30	1	<p>少子高齢化や過疎化の影響により、地域の文化を継承する人材が減少しており、文化を次世代に伝えていくことが難しいと感じている。次世代を担う子供たちのために、しずおか文化を含めた多様な文化に触れられる機会の充実、環境の整備を期待したい。訪れる人を魅了するまちにするためには、まず住んでいる私たちが、豊かに楽しく暮らせるまちにすることが必要であると考えます。地域や人々の文化力を結集し、その力を更なる文化振興につなげる静岡市であって欲しい。</p>	<p>施策2では次世代の文化体験の充実や担い手の育成を中心に取り組んでいきます。また、施策1では市民の皆様を中心に、文化を享受する機会及び選択肢の充実を図っていきます。本市在住の方々に充実した文化体験を提供していけるよう努めていきます。</p>
		31	2	<p>働きながら子育てをする身としては、豊かに育てて欲しいと思いつつ、機会を与えきれていない感があります。施策2や6の子どもたちへの体験や機会が教育機関や地域など、日常の中でより多く提供されると嬉しいです。</p>	<p>施策2や施策6では、次世代の育成や年齢制限のない文化体験がされるよう取り組んでいきます。また、施策1でも文化体験の充実に取り組み、本市で過ごす日常に文化体験が溶け込むことで、子どもたちに多様な機会を提供していきます。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		32	3	静岡市は茶文化・スポーツ文化に力を注いでいると感じている。子供達に芸術体験をさせて行くためには、市が文化施設を使って”アカデミー“（例えば、舞踊・茶・邦楽…）と称して、文化会館や生涯学習交流館などで子供に向けた講座や教室を定期的を開催するのはどうか？現況では、市の策でないというだけで、会場取り、講師など困難さ極める。せめて、会場だけでも確定してくれれば、毎回苦労なく、講座が開催出来るのだが。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
		33	4	私は伝統芸能である日本舞踊を教えている者として小さい時から”見る“”やってみる“ということは大変だいじな事で是非このような機会を与えていただければと思います。 視点3の施策6、視点1の施策2（第4章）を是非実行してほしいと願ってます。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		34	5	・大道芸で浮き彫りになった問題に象徴されるように、どちらかという観客側に立ちたい市民性から、演者側の文化活動の世代交代がなかなか進まない現状を考えると、次世代育成に力点を置いた施策展開が必要ではないでしょうか。 ・アニメーションなどのメディア芸術やe-スポーツなど若年層を中心にグローバル展開する新たな文化や、社会的に問題になっている学校の部活動支援に関しての記述がないのが気になります。前述の意見にもつながることだと思います。	* 施策2では次世代の育成をしていきます。担い手となる人々が伸びやかに活動し、学んでいけるよう支援していきます。 * 部活動については、第3期静岡市教育振興基本計画で具体的な取組みを進めています。本計画でも取り組んでいく内容であるため、教育委員会と連携を密にしながら、子どもたちが豊かな経験を積んでいけるよう支援していきます。
		35	6	子どもたちにいろんな文化に触れてもらいたいと思っています。そんな事業を続けてください。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
	ソーシャル・インクルージョンについて	36	1	病気で身体が思うように動きません。ちょっとした動作も緩慢になり、どうしても外出が億劫になりがちです。文化に触れる事はとても心が幸せになるので機会を設けたいと思っていますが、環境が整っていると外出もしやすくなります。段差が少ない会場や、ゆったり座れる椅子、気軽に出入りできる内容などに配慮されていると、私のような人間にも、小さな子ども達にも楽しく心躍る時間となるのではないかと感じました。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開を検討して参ります。
	ソーシャル・インクルージョンについて	37	2	文化を楽しむ仕組みがよく分かりました。でも、ものを創る側からは、まだまだ気軽に自分の作品を発表する場や、創る楽しさを共有する場（ハンドメイド体験などのワークスペース）が物足りない気がします。CCCに入っていますが、コミュニケーションが不得意な障害をもちながらも、創作を楽しんでいる発達障害などの方もいます。そういう方でも気軽に自分の作品を見せる場を提供していただきたいなと思っております。	施策6、7では、鑑賞機会の提供だけでなく「誰もが」表現者として輝けるよう、多彩な事業展開を検討していきます。
	ソーシャル・インクルージョンについて	38	3	誰もが参加可能で継続的な体験機会の提供は文化でつながるまちづくりに必要なことだと私も思う。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
	ソーシャル・インクルージョンについて	39	4	ポストコロナに向けて、コロナ禍で様々なことが制限されてしまい以前よりも人とのつながりや出会いがなく、孤立してしまっている方などにとっては、誰ひとり取り残さない機会の提供はすごく救われると思うので良いと思いました。	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
	ソーシャル・インクルージョンについて	40	5	この計画においてあまり共感できないところが一つだけあります。 例えばコンサートや演劇などチケット代をお客様が払って行くような催しに関して、このチケット代を最初から安く設定してしまうことは、その公演自体の価値の低下につながります。そして、これを続けることによってそのジャンル自体の価値が下がってってしまう事態に追い込まれます、というか当事者はもう追い込まれてしまっているのではないかと思います。 元々一枚8000円で設定されているような催しに対して、一律で-3000円するというような対策ではなくて、その8000円はそのまま(価値は下げず)、これまで以上に学校招待・シニア割やU25割などの策を講じてほしいと願っています。文化芸術界の経済的な維持・発展に関しても、大変だとは存じますがもう少しだけ配慮いただけたら嬉しい限りです。	ソーシャル・インクルージョンの達成には、貧富の差が文化体験の差に繋がらないよう配慮していく必要があります。ただし、これは全ての事業で対応を求めていくものではないと考えています。これまで行ってきた文化事業の価値の低下を招かぬよう配慮しつつ、無料で参加できる事業を開催していくなど、工夫して取り組んで参ります。

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		41	6	<p>・街は劇場 ラウドヒル計画にかかわっているので、障害者が活役できるところを増やしたいです。</p> <p>・障害者にもっとやさしい街づくりをしてもらいたいです。</p>	<p>施策6、7では、鑑賞機会の提供だけでなく「誰もが」表現者として輝けるよう、多彩な事業展開を検討していきます。また、道路やハードの整備についても関係各課との連携を行いながら取組み、ソーシャル・インクルージョンの達成に向けた取組みを行って参ります。</p>
		42	7	<p>「まちは劇場」が生まれて、文化施設だけでなく、駅や駅地下、駿府城公園など人が集う場を、よりもっと集い会える場になって来た、増えて来たと感じています。静岡市民文化会館が主催しています市民参加のラウドヒル計画では数年前に障がい者も参加出来る「シズオカノーボーダー」が出来ました。私もお世話になっています。”バリアフリー、”という言葉をよく耳に目にする時代ですが、未だ「どこがだろう？」と問う時代でもあり、その日常の中で『ステージ上でみんなで繋がれる』機会は障がい者にとって何よりの”バリアフリー、”なんじゃないのかな。と私自身は思っています。みんなが”ボーダーを引かずに楽しめる、。そんな文化芸術の場が、ここ静岡から生まれてくれた事に感謝しています。そしてもっともっと、様々な場が増えてくれますように。と思っています。</p>	<p>「文化でつながるまちづくり」ではハード面、ソフト面共に誰もが文化に触れる機会に恵まれるよう配慮していきます。特にソフト面では文化事業を鑑賞する側だけでなく、表現する側としての場も醸成していけるよう努めて参ります。</p>
		43	8	<p>経済的に困窮している家庭や、劇場や美術館に足を運ぶという習慣、機会がない家庭にも、芸術文化に触れるきっかけを与えられる仕組みができればと思います。</p> <p>また、障害を持った方や医療的なケアが必要な方については、外出や地域と繋がることなどが難しく、音楽やアートが好きでもなかなか生の芸術に触れる機会がもてない方が数多くいると思います。福祉施設などにも意見を聞くことで、より現実的な政策が打てると感じました。</p>	<p>施策6、7では、鑑賞機会の提供だけでなく「誰もが」参加可能な文化事業の展開を検討していきます。また、庁内で情報共有を行いながら、より一層充実した事業展開が模索できるよう配慮していきます。</p>
		44	9	<p>多様性が求められる時代に、文化事業についてもバリアフリーで参加できることが望ましいと思う。その上で、静かにコンサートや絵画鑑賞を楽しみたい人もその選択の自由が認められていいとも思うので、事業の趣旨を明確にすることでうまくすみ分けをして、皆が満足できる文化事業が提供されていくと嬉しく思います。経済の活性化は最終的に得られるものなのかなと思うので、それを主体にしなくてもいいのではないかと感じました。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>
		45	10	<p>①ソーシャルインクルージョンについて 特別な配慮が必要な場合などでの施策のほか、「子どもの貧困」との関連で、「体験の格差」が広がっていると感じる。学校外の活動における「体験」の提供について、今後検討が必要ではないかと思う。</p> <p>②基盤整備について 施設の老朽化、つり天井の未対応など、安全安心の場があってこそ。特に、観覧料を徴収したり、貸館事業を行う施設において、老朽化の問題は切実である。</p> <p>③発表の場、活躍の場の提供について 文化コミュニティの育成、促進には、場の提供と機会の提供が必要。何らかの活動を関係者以外にも見ってもらう機会を提供すること、また、意図的に活躍の場を提供していくことが必要だと思う。</p>	<p>*体験の格差や施設の老朽化対応については、いただいたご意見を基に、今後の事業展開を検討して参ります。</p> <p>*発表機会の維持等は、施策1の中で充実させていく予定です。</p>
	まちは劇場について	46	1	<p>「まちは劇場」の考えの中には、人づくり・文化創造の視点がなく、完成品を買って来るカンジしかしません。「まちは劇場」を推進する課があるようですが、それは不要であり、文化振興課又は文化振興財団の一部署とすべき。</p>	<p>推進体制や政策展開につきましては、毎年度事業評価を行いながら状況に応じた臨機応変な対応を行っていきます。</p>
	まちは劇場について	47	2	<p>「まちは劇場」をはじめ、すでに第1期で実施されている施策について認知度が低いと思われるので、第2期にあたりどう認知度を上げ、推進していくのが問題のように感じました。</p>	<p>情報発信に努め、広く市民の皆様に計画について周知できるよう、努めていきます。</p>
	サードプレイスについて	48	1	<p>サードプレイスの増加について、文化を通じた居場所に出会う機会を作ることになっていますが、施策では文化を感じられる点がなく（資材に奥シズの木を使っているなどの点以外）、ただの休憩場所となっているように感じられます。</p> <p>この用途であれば、喫茶店等で仕事や勉強を行っている様子と変わらず、サードプレイスの記載は不要ではないかと思われます。また、文化施設の有効活用についても、有料でお部屋貸しをしている施設で部屋の開放等につながってしまうと、通常のお部屋貸しと差別化が難しいなどの課題も出てくることも考えられ、再度検討をお願いしたいです。</p>	<p>サードプレイスは実空間に限らず、オンラインも含めた人や場の緩やかな繋がりがあがる「居心地の良い空間」そのものを指しており、本計画では文化体験を介したサードプレイスの創出を目指しています。新しい視点での取組みであるため、現段階では事業の具体的な例示が少ないため、徐々に増加させていきます。また、公共施設にこの役割を求める事も視野に入れていますが、人が集う場そのものをサードプレイスと考えているため、無料で部屋の開放をしていただく必要はありません。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
	シビックプライドについて	49	1	<p>「内容説明冊子」を拝読し、「誰ひとり取り残さない」と言う一方で、条例上の「各主体がそれぞれの責務にのっとり」という文言をベースにしているのかと想像しますが、「市民に期待される役割」として、市民に役割を求めていることが気になりました。仮に役割を果たせなくても、シビックプライドを持っていなくても、「あるがまま」に「誰ひとり取り残さない」の「誰ひとり」に入れていただけるのかなと…。</p> <p>揚げ足を取るようなことを申して恐縮ですが、様々な人の営みや、その中で生み出されたものの美しさに触れていくことが、人間の精神的な豊かさに繋がるものだと私も信じて疑いませんが、文化を享受することは直接的にシビックプライドや「期待される市民像」に繋がるものではなく、その妨げにさえなるものだと思います。勿論、文化振興が盛んな地域で生活を営むことが、その地域に対する愛着に繋がるとも思いますが、それはシビックプライドというものとは違うようにも思います。</p> <p>市として文化に投資し推進するために、効能を謳うことが必要なのは理解できますし、推進して下さること自体が本当にありがたいので、このまま推進いただきたく思うのですが、文化振興の先に「シビックプライドを持つ理想的な市民像」は期待しないでいただきたいなあと、少し思ってしまった…。(まあ、そこは運用でカバーですね!!)</p>	<p>*本計画は条例に基づき策定されたものであるため、ご指摘のとおり条例第4条「市民の責務」に記載される事項より引用しております。これは文化の振興における責務を定めるものであり、これをしていない市民は対象外であるとする内容ではありません。</p> <p>*シビックプライドは、特定の地域をより良くしていこうと人々が思い、積極的に働きかけていくことを指していますので、施策3では本市在住の市民のみではなく、本市の文化を愛し、大切に育もうとする人々を醸成していきたいと考えています。</p>
		50	2	<p>・全体として計画の基本的な考え方や施策の視点など共感する部分も多いですが、「文化を持って様々な行政課題に取り組む」、「すべての市民に文化の力を」、と肩に力が入りすぎた印象を受けます。文化がすべての課題を解決できるわけではないですし、まちづくりの手法は文化以外にも多々あります。文化の中でも特定の分野に絞る、行政課題も対象範囲を絞るなどした方が、施策の具体性とその成果目標の設定がしやすいように感じます。文化はすべての人が育むものではありませんが、文化がまちづくりの手法として万能でもありません。芸術・歴史文化に絞ればなおさら、それを享受したい人も限られるものと考えます。</p> <p>《第4章 施策の展開》</p> <p>・「視点1.文化を育む人づくり」-「2.シビックプライドの醸成」について</p> <p>シビックプライドとはつまり「地元愛」と理解していますが、地元への愛着やプライドを持つことは一方で帰属意識や排他主義につながる恐れもあります。これは推進を目指すに、取り組みの結果、ほのかに薫るくらいがバランスがよいと思います。そもそも静岡市民はそんなに地元への愛着が薄いのですかね？市民の交流を促進しながら、一方で固定や囲い込みを望む、そんな矛盾も感じなくはないです。</p> <p>《第5章 推進体制》</p> <p>・「1.推進主体の役割」-「(1)市の役割」及び「(2)公益財団法人静岡市文化振興財団の役割」</p> <p>文化の定義を幅広くとらえるのであれば、その推進体制として本計画を所管する文化振興課だけでなく、市役所内の関係各課がどのように関わるのか、またはどのような役割を担うべきなのか具体的に明記されたいことを望みます。（「観光、産業、教育その他の行政分野の施策との連携を図ります。」だけではその実効性に疑問を感じます。）</p> <p>またパートナーも静岡市文化振興財団だけでなく、まちづくり公社などの外郭団体を広く含めるべきかと。静岡市が策定する計画なのだから、静岡市役所及びその外郭団体が、その総力を挙げて推進するくらいの体制を提示していただきたいと思います。財政課も含め。</p>	<p>*文化とまちづくりの関係についてはご指摘のとおりですが、本計画における視点として取り纏めていく中で整理しました。より広域の視点も意識しながら計画の運用を進めていきます。</p> <p>*シビックプライドには「地元」のみならず、地域文化に向けた愛着や積極的な関与をする行為そのものを指す意味合いが強く、囲い込みの方向性とは異なると理解しています。この共通認識に齟齬が生じないように、十分に配慮していきます。</p> <p>*庁内の関係各課や外郭団体等との関わり方については、具体的な事業体系として別途「事業実施計画書」に取り纏めていきます。</p>
	にぎわいの創出について	51	1	<p>計画案を見させていただき、この計画を実行できれば、静岡市は文化で溢れたより魅力的な街になると思いました。コロナがまた増えてきているので、文化によりにぎわいを創出するということは、難しいところではあると思いますが、感染予防に気を付けつつ、今の時代に合った形で文化を活性化できる大規模イベントを実施できれば良いと思いました。</p>	<p>施策10では「にぎわいの創出」をコロナ禍以前の水準まで取り戻していけるよう、状況に応じた対応を行ってまいります。オンラインツールも駆使しながら、多様なにぎわいの創出に努めてまいります。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		52	2	<p>コロナの影響による観光業界の低迷についてニュースでよく耳にします。 「文化でにぎわうまちづくり」の推進は、こうした観光業の発展につながると思うので、今後力を入れていくべきだと感じました。 魅力的な文化事業の実施はもちろんのこと、魅せ方もとても重要だと思いますので、施策9にあるような情報発信の方法については、いろいろと試してみるのが良いと思いました。</p>	<p>施策10では「にぎわいの創出」をコロナ禍以前の水準まで取り戻していけるよう、状況に応じた対応を行ってまいります。オンラインツールも駆使しながら、多様なにぎわいの創出に努めてまいります。 施策9の情報発信では、形に捉われず新しい試みがされていくよう、関係各所と調整を行い成果に結び付けてまいります。</p>
本計画で扱う文化の範囲について	文化の定義について	54	1	<p>・文化の定義について p3の文化の定義について、（有形不動産）文化資産が含まれていないと思いました。例えば、登呂遺跡は、次代への継承や観光資源化のための文化の一つだと思います。こうした文化資産が「文化の定義」のどのカテゴリにも入っていない感じがします。p18に「文化財」「文化資源」という言葉が散見されますが、p3の文化の定義とどのようにリンクされているのでしょうか。 ・新型コロナに関する記述について p5に記述されている新型コロナに関する記述で、現状認識は賛同なのですが、実空間で文化を育んだり享受することを最優先とするようなニュアンスをもっと強くしてほしいです。新型コロナの現況は、あくまで異常な事態であり、それに引っ張られると本来の”人と人とが相対することの良さ”が少し霞んでしまうのではないかという不安があります。p12の上段から8～12行が実空間を大事にするという部分に当たるのでしょうか。 ・総花的に感じる部分について p6の「ソーシャル インクルージョン」について、社会的弱者が分け隔てなく文化に触れるためには、土台として社会福祉政策や教育、医療等の分野との共同がまず必要だと思いますが、その具体的な形（特に行政内の連携案のようなもの）がよくわかりませんでした。結果的に『「ソーシャル～」もワードとして入れました』という印象でしたので、”総花的”と感想を表現しました。</p> <p>このたびの文化振興に関する 静岡市様の文化振興にお取り組み下さるその計画書、文化活動に携わる一人として本当に嬉しく拝読いたしました。 また、このように意見を申し出る機会を頂き誠にありがとうございます。 お言葉に甘えて意見をお伝えさせていただきますが、文章の書き方が悪く 中には批判的に読めてしまう部分があるかもしれません。批判する意味はなく真剣に率直な意見を申し出ただけですのでその点あればはじめにお詫びいたします。ご容赦ください。 当方は文化活動なのかでも「音楽」に関し、ジャンルとしては「歌謡曲・ポップス・J-POP・アコースティック」を中心に静岡県内の音楽活動家の活動を支援する活動を行っております。 「一般市民によるポップス音楽の演奏を披露する場の提供により、その知り合い等も巻き込み身近にその音楽に触れる機会を作り、文化発展に貢献する。」その観点から意見の申し出をさせていただきます。</p> <p>●文化活動における「音楽」のジャンルの位置づけについて まず、計画書に定義づけ頂いている「芸術」の中に「音楽」を上げて頂いておりますが、世間一般的に「歌謡曲・ポップス・J-POP・アコースティック」というようなジャンルの印象が薄く、むしろ「騒音」のような悪い印象に感じられているのが活動の悩みの種であります。 ある民間の施設に「（文化活動の一環として）音楽発表の会を開催したい」と申し出をしたところ「（フルート・バイ...</p>	<p>*文化の定義については非常に幅広いものであり、ご指摘いただいた内容は本計画でも扱っていきたい重要な文化であると考えています。しかしながら、これらを全て書き出すにはあまりに数が多いと判断しているため具体的な記載を避けています。今後は市民の皆様にもこれが伝わりやすいよう、配慮してまいります。</p> <p>*本編冊子P12のご指摘の箇所が、ご指摘いただいたような対面による文化体験について言及した箇所です。コロナ禍で得た手法や技術は継続して活用していく必要があると考えています。今後はコロナ禍以前の文化活動を取り戻しつつ、多様な文化事業が展開されるよう働きかけて参ります。</p> <p>*第4次静岡市地域福祉計画でも、様々な状況の方々に豊かな生活を送っていただくための取組みを検討しています。これらや専用の施設と上手く連携しながら、本計画のみでは達成できない取組みまで視野に入れ、市を挙げて取り組んでまいります。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		53	2	<p>オリフのような) 管楽器・弦楽器演奏なら良いが、ポップスなどのジャンルは不可と言われることがありました。計画書にありますが「空間の活用（まちかどコンサートなど）」とあります部分もポップスは不可なのかなと思います。ひと昔まえから「ギター演奏=不良」という風潮がありました。その印象が今でも残っているように感じます。実際には現在はギター演奏など生活の一部にあり、文化のひとつに感じている人も多いことと思います。特に若者には管楽器・弦楽器演奏などと同じかそれ以上に、ポップス類に親しむ方が多く、そのジャンルも大事な文化だと思っています。</p> <p>これからは、ポップスの類の活動も文化活動の一部・身近な文化という印象が根付いていくと嬉しく思っており、何かその手段が講じられないものかと考えております。</p> <p>●音楽発表の場所、一般市民も参加できる場所について 一般市民が音楽を発表できる場をもっと身近に持てればと思っております。</p> <p>参加させて頂いた「まちは劇場 TRY 2 2」にて来場者に伺ったアンケートを見ると「静岡市内の街中で、もっと音楽に触れる場所（ライブがある場所）があるといい」というものが多くありました。確かに静岡市内では、一般市民が音楽を気軽に演奏し、それを一般の市民が楽しめる場所が少ないと感じています。</p> <p>当方で企画した音楽発表会を開催したく、その開催地に考えたある施設やその近隣様にお願いに伺うと、ほとんどが「騒音になる」という理由で、開催のお許しを頂けないことが多いのが現状です。「ポップスなどのジャンルは、ホールやライブハウスで開催すればいい」と言われてしまうことも多々あります。</p> <p>たしかに、ホールやライブハウスで開催することも手段ではありますが、そういった会場にはお客様は音楽家の知り合いや固定のファンしか集まらず、身近に感じるものとは少し違うように思います。また、「ホールで演奏するのは敷居が高い」とか「ライブホールや民間施設で演奏するには会場費が高くて厳しい」という、「発表したくでもなかなかできない」といった意見も多く聞きます。</p> <p>計画書に「市民が参加できる大道芸ワールドカップ・静岡まつりの開催」「市民活動発表や表現の場=市民文化祭・芸術祭」とございますが、出演するのは「プロまたは、いつも決まった人が発表する場」というのが正直な印象で、必ずしも身近に感じえない思いが正直なところです。音楽を発表したい一般市民が参加するにはなかなか難しい環境でございます。よってどうしても市民の参加は「観覧するだけの受け身の姿勢」となっている印象です。</p> <p>計画書の他の項にあります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気軽に参加できる文化事業が多く開催される ・身近で誰もが参加できる催しの開催とその環境整備 ・活発に文化に触れる機会の提供・自発的な活動への支援 <p>という部分におきましては「観覧による参加」という意味合いが強いかもしれませんが、ぜひ音楽家の立場からの気軽に参加できる音楽企画、またはそういった街中で一般市民向けに音楽を披露できる場所が増えるように希望しております。</p> <p>あと、蛇足ではございますが、冒頭でも触れましたように「音楽=騒音」という印象がもたれております。その際の理由には条例にあります「音量の規定」を言われてしまいがちです。難しいこととは存じますが、できたらその部分の条例改正など何か手段がないものかという希望もございます。</p> <p>●静岡まつりに参加希望した際のできごと</p>	<p>いただいたご意見への回答</p> <p>*文化の定義については非常に幅広いものであり、ご指摘いただいた内容は本計画でも扱っていくべき重要な文化であると考えています。しかしながら、全て書き出すにはあまりに数が多いと判断し、具体的な記載はしていません。</p> <p>*活動発表の場の確保については、可能な限り多くの機会を提供できるよう努めて参ります。本市としてもまちなかのあらゆる場で文化事業が提供される事を望んでいますが、人の往来を妨げる状況になる事はその趣旨に反するものであると考えています。いただいた意見を基に、今後の方針を検討して参ります。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
				<p>前項でも触れましたように、「静岡まつりにおける音楽の演奏は、プロや決まった音楽家の出演によるステージ」という印象で、一般市民の音楽家は参加が難しいというのが現状です。</p> <p>そこで、当方はある方に「静岡まつり内での新しいコンテンツとして、市民がもっと気軽に音楽発表が出来る機会を持ちたく思っている。機材等の運営は当方ですべて揃えるので、場所だけご提供いただきたい。」とご提案、相談を持ち掛けました。しかしそのご回答は「披露する場所は与えられない」というものでした。</p> <p>計画書に「市民の自主性・創造性を尊重」「文化イベント運営も積極的な参加により市民の創意工夫が生かされ活性化につなげる」とあり期待しておりましたので残念に思っております。どうか今後ご一考いただけたら嬉しく思っております。</p> <p>●さいごに</p> <p>このたびは、このように意見を申し出る機会を頂き、誠にありがとうございました。長文にて失礼いたしました。中にはお気を悪くさせてしまう表現もあったかもしれません。お詫び申し上げます。冒頭にも記しました通り批判という意味ではなく、せっかくの機会ですので正直なところをお伝えすることで、文化発展の一部になればという思いでございました。</p> <p>できたら今後、このように文化活動に関して気軽に相談ができる窓口があるといいなと思いました。</p> <p>今後ともよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。</p>	
		54	3	<p>文化庁による文化芸術基本法では、「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術」を「芸術」と区別し「メディア芸術」として規定しております。新規計画では、急速なデジタル化への対応や「新たなかたちの文化の活性化」については言及されていますが、「メディア芸術」についてはどのようにお考えでしょうか。</p> <p>資料3ページに「表に具体的な名称として列挙されていないものであっても（中略）文化であるとし」とはなっていますが、国（文化庁）が敢えて区別し「メディア芸術」を定義しているため、静岡市もそれに準ずる形で条例改正や計画の策定をするべきだと考えます。</p> <p>本計画は今後8年間にわたっての方針を設定しているものであり、8年後には文化芸術の形がより変化していることが容易に想像できます。</p> <p>文化芸術に関する先進的な取組に対し、歩調を合わせて変化していくことで未来の文化振興により寄与できるのではないのでしょうか。</p>	<p>メディア芸術についても本計画で取り扱う文化の範囲とし、積極的に取り込んでいきたいと考えています。本計画は「静岡市創造及び交流によりまちの活力を生み出す文化の振興に関する条例」に定められたものであるため、この条文第2条における定義に準じて記載しております。この条文に記載されたものはあくまで具体例であり、その他の文化もこれに内包するとし考えております。しかしながら、いただいたご意見を基に条文等のあり方についても検討して参ります。</p>
		55	4	<p>計画案を拝見して、「しずおか文化」の定義の中に、静岡の自然風土にもとづく食文化、産業を含めた科学技術、エスパルスに代表されるスポーツ等の視点が抜けているのではないかと思います。従来の歴史芸術といったステレオタイプの文化像から、現在は文化の定義が広がってきているのではないかと思います。8年後を見据えると、上述よりもっと定義が広がるのでは？</p>	<p>文化の定義については非常に幅広いものであり、ご指摘いただいた内容は本計画でも扱っていききたい重要な文化であると考えています。しかしながら、これらを全て書き出すにはあまりに数が多いと判断しているため具体的な記載を避けています。</p>
		56	5	<p>アニメや漫画などのいわゆる娯楽と言われるようなものまでも文化と捉えられるのであれば、文化はとても身近なものになっていくと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		57	6	<p>文化振興について計画案は全く共感できませんでした。</p> <p>まず、投げかけたいのは、静岡市のプラモデルは文化にならないのでしょうか？</p> <p>所詮はおもちゃ。文化じゃない。高尚なものじゃない。文化活動にも振興にならないってことでしょうか？</p> <p>ホビースクエアはビルの一角で市民はほとんど知らない。</p> <p>せっかくの静岡市の特色なのに大都市にどんどん出店されてますよね。浜松がヤマハのイメージやスズキのイメージで商業から市内の文化にまで発展してる印象を受けてます。文化の解釈の違いかもしれませんが、街の発展につながることはないのでしょうか？</p> <p>芸術分野に木工芸や竹細工とありますが、プラモデルは静岡で生産される新基軸の工芸品のひとつとして考えられませんか？</p> <p>完成されたおもちゃと違い。プラモデルは説明書通りに作っても、作った人の個性が出ます。得意な人たちは全国、全世界でまるで工芸品や美術品のような作品を作り上げているものです。ホビーショーの一般展示でも芸術的な作品は多数あります。</p> <p>新しい芸術文化として盛り上げることはできないのでしょうか？</p> <p>文化振興の特色にホビーをぜひご検討お願いします</p>	<p>文化の定義については非常に幅広いものであり、ご指摘いただいた内容は本計画でも扱っていきたい重要な文化であると考えています。しかしながら、これらを全て書き出すにはあまりに数が多いと判断しているため具体的な記載を避けています。市民の皆様にもこれが伝わりやすくなるよう、情報発信に努めていきます。</p>
	しずおか文化について	58	1	<p>静岡で生まれ育ち毎日生活しているとそこにあるのが当たり前だと思っていたことが、他県・他市から来た人達に驚かれることがよくあります。例えば車で30分も走れば海・山・川・街・美術館・博物館・映画館・劇場・歴史的な跡地など、どこへでもアクセスでき（駐車場にも困らない）、午前中は街中でウィンドウショッピングを楽しみランチを食べ、午後は美術館で芸術鑑賞を楽しんだ後海沿いをドライブする、など東京では1つのことが1日仕事になるのに対し静岡はすべてがコンパクトにまとまっていて、東京と比べても流行などほとんどタイムラグがなく、生活する上では静岡の方が利便性がよく自然・歴史・文化が豊かで羨ましいと言われる。温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、古来より東西交通の要所にありながらのんびりした風土に育まれた静岡独自の文化を自分たち自身が自覚し、広く内外へ発信できれば「文化のちからにより国内外から多くの人々を集め、訪れる人、住む人を魅了する求心力の高いまちの実現」につながると考えます。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>
		59	2	<p>徳川家康を始めとした静岡の歴史は誇れるものだと思います。</p> <p>しずおか文化としてもっと歴史をPRして行っていただきたいです。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>
		60	3	<p>静岡市にも大事に受け継がれていくべき地域の伝統文化が数多くあると思います。</p> <p>新しいことばかりに目が行きがちですが、そういった地域の伝統文化も大切にしていってほしいです。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>
計画の推進・評価に関する事	成果指標について	61	1	<p>静岡市文化振興計画（案）について、何点か述べさせていただきます。</p> <p>1 P26の成果指標（案）について、「文化でにぎわうまちづくり」は、自分自身や周りの人は、・・・と思う人の割合」とありますが、この成果指標は、「文化でつながるまちづくり」の指標ではないのかと考えてしまいます。「文化でにぎわうまちづくり」の指標ならば、施策を踏まえ、にぎわいの二つの視点としてオンライン活用と対面交流に関連する情報発信に係る指標や交流活性化する文化事業の開催に関連する指標になるかと思えます。例えば、市や文化芸術歴史や観光業などのウェブサイトへの年間訪問回数やコメント数、国内外に向けたならば来訪者数やリピーター数などもあるのではないのでしょうか。2021年度の市民意識調査の結果を参考にするのはよいのですが、視点にマッチした指標を設定すべきと考えます。現行計画の「創造的にぎわいづくりの指標30%」もありなのかもしれません。にぎわいを人の集まりだけでなく経済的価値の創造へつなぐと考えると、芸術歴史文化や観光産業など経済的な活気（活力）があふれる指標もあるのかもしれません。いずれにしても2022年の数値をもとに設定なのかもしれませんが。</p> <p>2 計画（案）P6、P11、P13等のSDGsの文中の「誰ひとり取り残さない」ですが、政府等一般的には、「ひとり」は漢字で「一人」です。できれば一般的な「誰一人取り残さない」とした方が素直に入ると思いますが。</p> <p>3 P6下段の文化芸術推進基本計画の文章ですが、当該計画は誰が策定したのかわかりにくいので、冒頭に「文化芸術基本法の規定に基づき、政府は、文化芸術に関する施策・・・以下同じ」にしたらいかがでしょうか。</p>	<p>* 「文化でにぎわうまちづくり」と「文化でつながるまちづくり」の成果指標のあり方について検討し、見直しを行いました。</p> <p>* 「誰ひとり取り残さない」の表現には多種多様な書き方があり、国の表記も完全な統一が図られていません。本計画では、文化庁で主に用いている表記を参考に作成しているため、現状のままとします。</p> <p>* 計画の位置付けについては現状、条例に基づくものとして整理している</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
				<p>4 全体の文章の中で、例えばP6の上段の「誰ひとり取り残さない事」の「事」ですが、様々な箇所「事」の記述があります。「事」は普通名詞です。文章を読む限り、多くはひらがなの「こと」形式名詞であると思います。ひらがな「こと」に整理した方がいい箇所が多数存在するかと思います。P11～P12は多数「事」が存在しています。</p> <p>5 P12の（4）推進体制の充実の文中後段で、「財団がこれまで以上に・・・体制拡充を求め」と記述がありますが、体制拡充を求めるのは「財団」？「静岡市」？でしょうか？主語述語の整理が必要ではないでしょうか。例えば「本市の文化振興を推進していくため、これまで以上に財団の体制拡充を求めるとともに、本市が理想とする文化政策の・・・」ということでしょうか？P21の下段にも同様な文章が見当たりますが。</p> <p>6 P23～P25の文化施設名は、正式名称にしていなければ幸いです。 「中勘助文学記念館」は「静岡市中勘助文学記念館」、「静岡市立歴史博物館」は「静岡市歴史博物館」、「静岡市三保松原文化創造センターみほしるべ」は「静岡市三保松原文化創造センター（みほしるべ）」で整理できればと思います。</p> <p>以上です。字句整備ばかりで申し訳ございませんが、よろしく申し上げます。</p>	<p>ため、現状のままとさせていただきます。また、漢字表現については意味の取り違えが生じるものではないと判断し、現状のままとさせていただきます。</p> <p>*当該箇所での主語は「静岡市」ですが、静岡市文化振興財団との調整を行い、現状のままで意図が伝わると判断しましたので修正なしとします。</p> <p>*施設名については全て修正しました。ご指摘ありがとうございました。</p>
	推進体制について	62	1	<p>「文化でつながるまちづくり」を推進していく体制について具体的な説明、特に”推進体制の充実、の項で触れているパートナーとしている静岡市文化振興財団の役割についてのお考えを伺いたい。</p>	<p>（公財）静岡市文化振興財団は本計画における事業の具体的な実現をしていくパートナーとして位置付けています。特に「文化でつながるまちづくり」は現行計画に不足している視点であり、第2期計画では特に力を入れていきます。財団にはこの新しい視点に意識を向けた事業実施をして貰えるよう、協力を仰いでいきます。</p>
		63	2	<p>Q3で「推進体制の項で各々の役割を明らかにしたことに共感した」と回答しましたが、この第2期静岡市文化振興計画を推進していくうえで、最も大きな役割を果たさなければならないのは、公益財団法人静岡市文化振興財団であり、その活動が市民を牽引していく力になっていくと考えます。 市には、その公益財団法人静岡市文化振興財団を“牽引力、になるよう育てていく役割があると思います。</p>	<p>公益財団法人静岡市文化振興財団とは本計画でも重要なパートナーとして位置付けております。本市としましても、市民の皆様にこれまで以上に豊かな文化体験を提供していくために、より一層の働きかけを行って参ります。</p>
	評価の方法について	64	1	<p>ソーシャルインクルージョンの考え方と、単純な受益人数による評価指標は馴染まないため、計画に沿って長期的に事業が実施されるための評価方法が検討できると良いと思いました。</p>	<p>評価のあり方については、文化振興審議会での評価検証の中で慎重に検討して参ります。</p>
		65	2	<p>・実際に文化事業、活動を行っていくにはどうしてもある程度の時間とお金が必要な中で、実際に活動している運営者が人手不足・資金面をきっかけにして疲弊しないことを願います。 ・文化事業、活動の成果として当然ではあるものの、いわゆる「本番」しか評価がされていない現状があると感じています。本番を行うには、必ずそれまでの過程があります。その過程が文化振興の肝だと思うので、本番のみの評価のみならず、それまでの過程にも目をかけてもらえる体制が整って欲しいです。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。 評価のあり方については、文化振興審議会での評価検証の中で慎重に検討して参ります。</p>
	他分野との連携	66	1	<p>「文化事業」は大変な時は後回しにされがちですが、生きていく上で必要なものだと思います。高齢化が進む地域への対策や少子化対策などにも文化という手段を利用して働きかけることはできると思っていますので、ぜひそういった施策も行っていただければと思います。</p>	<p>庁内や外郭団体との情報共有や連携を行い、多様な政策に取り組んでいきます。</p>
		67	2	<p>・地域住民の連帯感が薄れていると感じているため、文化政策と生涯学習政策との連携があるとよりよいと感じます。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>
計画策定にあたって	情報発信について	68	1	<p>市民ギャラリーを使用、展示会を開催していますが市役所（区役所）勤務の方々が昼休み等理用しての来場者を見た事はありません。又、役所に来た方がギャラリーの展示について目にする（知り得る）方法は？自分達の活動内の事しか分かりませんが足元から見直す必要有りかと思っています。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		69	2	計画が実行されれば楽しい事が沢山有ると色々な人から口コミ（デジタル）などでも広がる気がします。インパクト、持続的活動、両方必要だと思います。様々な人が文化に触れる事はとても大切です、自分も静岡ラウドヒルの活動を通して、皆様に伝えて行きたいです。	情報発信に努め、広く市民の皆様に計画について周知できるよう、努めていきます。
		70	3	色んな計画や実行をしている様ですが、宣伝がいきわたらないある1部の人々だけが、楽しんでいる感じがする	情報発信に努め、広く市民の皆様に計画について周知できるよう、努めていきます。
		71	4	良い計画だと思います。もっと情報発信して文化都市の認知を広めましょう。	情報発信に努め、広く市民の皆様に計画について周知できるよう、努めていきます。
		72	5	気軽に参加するには、ある程度広報に力を入れる必要がある。ホームページのみではなく、ニュース等で今週のイベントを紹介するコーナーを作成し、周知をしていければもっと参加人数が増えるのではないかと。	いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討して参ります。
		73	6	当振興計画（案）に取り上げられている諸施策は納得できるものですが、それを実現する上では様々な課題もあります。「誰でも・どこでも・文化に触れる」と言っても会場施設や設備が完備と言う現状ではないと思います。計画（案）を実行し、成果を出すためには、この文化活動計画が一部の人間の中だけに伝わるのではなく、広く市民の中に浸透しなければなりません。地域・職場、学校等様々な団体や興味を持つ市民に計画（案）を知らしめる必要があります。このような素晴らしい計画が、残念ながら市民の間に十分に伝わっていない現状もあります。様々な機会を通じて多くの市民が共有できる計画・目標になれば更に一歩前進できるのではないのでしょうか。	<p>* 静岡市市民文化会館の再整備を筆頭に、バリアフリー化を進めるなど、文化体験におけるハードルを少しでも低くできるようハード面でも整備を進めていきます。</p> <p>* 情報発信に努め、広く市民の皆様に計画について周知できるよう、努めていきます。</p>
		74	7	現在においても、静岡市の文化振興事業は多様な展開をしてくださっていると思います。しかしながら、本文の市民意識調査にあるように、「文化でつながるまちづくり」や「文化でにぎわうまちづくり」について認知度が低いように感じます。今回の計画案にもある通り各主体が相互に連携・協働することで、市民が豊かに過ごすことができる静岡市になることを期待しています。	情報発信に努め、広く市民の皆様に計画について周知できるよう、努めていきます。
		75	8	文化振興を行うためには、この計画案を市民への認知度を上げていくことが不可欠です。「まちは劇場」など聞いたことはあっても具体的に何をやっているのかわからないという人もまだまだ多いと思います。そこが伝わってけば、もっと市民の参画が広がっていくのではないかとと思います。それをどう分かりやすく市民へ説明していくのか、どうPRしていくのか具体的なことが分かるとよいと思います。	情報発信に努め、広く市民の皆様に計画について周知できるよう、努めていきます。
	冊子の内容について	76	1	【目標2】の文化交流により、新たな文化を生み出し～は新たな文化と「価値」でも良いような気がしました。文化が持たらず「価値」に人々は経済的な対価や、自分の満足感、充足感を得られると思うので。	文化的な価値については一定の議論の余地がありますので、静岡市文化振興審議会での審議をしながら慎重に判断してまいります。
77		2	<p>【概要版】「4. 予想される将来像・成果」右の「イメージ」の「①ソーシャル・インクルージョン」といったカタカナが唐突な印象。読み進めれば理解できるが、知らない用語があると目線が止まるため、SDGs 関連等なじみのない用語は、下段や欄外に用語注釈等をまとめて入れた方がわかりやすくなる。</p> <p>また、同じ個所の「①ソーシャル・インクルージョンの達成」について、「多様な文化事業の体験機会の提供」をもって、社会的弱者をも含めた誰一人取りこぼさない「ソーシャル・インクルージョン」の「達成」は荷が重い印象を受けた。達成ではなく「醸成」程度にとどめたほうが、成果指標である「文化でつながるまちづくり」とも整合しているように思えた。</p> <p>【計画内容冊子】●25ページ、静岡市立歴史博物館→静岡市歴史博物館。静岡市歴史博物館とみほしるべに住所記載がないため、住所記載。</p> <p>【文化振興計画案からは外れるかもしれませんが…】●19ページ 施策8に関連して、（文化振興課ではなくデジタル化推進課のご担当ですが）文化施設だけでなく生涯学習施設にも「シズオカ ワイファイ パラダイス」を導入してほしい。人が集まる、人を集める場所にはフリーWi-Fiが必須だと思います。</p>	<p>* カタカナ語の表記について注釈を加筆しました。なお、「達成」と「醸成」については本来目指したい方向性が「醸成」よりも一段階上の状態であるため、現行のままとさせていただきます。館名は修正しました、ご指摘ありがとうございました。</p> <p>* Wi-Fiについては、いただいたご意見を基に庁内で検討して参ります。</p>	
78		3	説明を見る人によってはハードルが高いと思う方も多いかと思います。簡潔な文章で、実際に行った事業の活動風景の写真を掲載すると、よりイメージがわきやすく理解しやすいのではないのでしょうか。	本編冊子にイラストの挿入をし、イメージを膨らませやすいように調整します。	

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
文化政策の在り方について	まちづくりについて	79	1	<p>年末に東京から静岡に帰省していて、お正月に静岡駅の地下で大道芸(ジャグリング)をしているアーティストの周りに多勢の人が集まって笑っている姿を見かけました。</p> <p>東京ではこのような光景を見たことがなかったので、静岡の人はなんて優しく、平和なまちなんだな～と改めて思いました。</p> <p>そんなところが静岡の良さだと感じましたので、ずっとそんな街であってほしいと思います。</p>	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
		80	2	<p>静岡市には大道芸のように街中で突然始まる芸術文化にも暖かな眼差しが向けられる寛容性があると思います。アーティストにとっても観客にとってもその雰囲気は大変素晴らしいものだと思います。そのような静岡らしい文化がいつまでも続くまちであって欲しいと思います。</p>	ご意見ありがとうございました。ご期待に沿えるよう努めて参ります。
				<p>*文化の育つ環境と謳われているが、SDGsにある住み続けられるまちづくり。文化は押し付けられるものでは決してありません。たとえば障害者など誰でも分け隔てなく云々との記述があります。文化施設内をバリアフリーにするのは今や当たり前になっています。私はそこへ行くまでの道中でもそうあるべきだと思います。でないと施設内だけで街中には広がりません。商店街など土日は11時から歩行者天国になり車は入ってきません。でもその中で誰でもが自由に行き来できる道路構造になっていません。歩道車道、傾斜などは障害者ばかりでなく、高齢者、台車で荷物を運ぶ運送業者にとっては大きなストレスになっています。文化は街のあちこちにあります。ストレスなく循環することで発見があります。（次ページへ続く）</p> <p>呉服町通りには、商店街があり多くの方が毎日ご利用されています。当り前の風景ですが、昭和32年から建築された不燃化共同ビル群が街並みを形成しています。60年が過ぎ、年代からしても、建築時の革新さからしても、文化歴史的建造物です。</p> <p>私のビルの1階奥に25坪ほどの空間があります。一昨年までは長年ファーストフードの倉庫としてお借りいただいておりました。移転されたあと、ビル建設時にそこにあった喫茶店「青い麦」の名前を拝借して、貸しギャラリー青い麦としました。青い麦の存在跡が壁、天井、床などに遺跡のように残っていて、それをそのまま生かして、貸しギャラリーにしました。</p> <p>下見に来たかたや借りてくださった方、展示に訪問された方などから、歴史文化を感じると好評を得ています。60年以上前に建てたコンクリート面に、板を継ぎ合わせた型板あとに木目があったり、当時の職人さんがメモしたチョーク跡があったり、当時を忍ぶことができます。</p>	

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
		81	3	<p>先日もフラタモリで駿府城公園から商店街の4階が見せかけ空間だったことなどが紹介されていました。木造住宅が密集していた中、行政地区を守るための防火壁という役目があったからです。この歴史的商店街を次に以下に継承させていけるかも文化の継承の観点からも大切です。再開発という名のもとにまったく新しいビルが建設されてよいのでしょうか。そういったところに文化振興財団などもご意見ご提案いただき、建設当時行政と店主たちが未来の静岡中心街のために英断したことは素晴らしいことであると思います。昭和15年大火で焼失、20年空襲でまたも焼失、その後12年で今のビルが建ち始め、現在の街並みを形成したのです。</p> <p>観光課、街は劇場課など今回の計画案で謳われていることは、他の分野、都市計画課、市街地整備課、道路管理課、交通政策課、さらに警察なども含めて協議実行しなければならないものです。たとえば、最近の例で七間町の車道整備、紺屋町の駅より2ブロックの歩車道の改修。こういったもの、こういう変化の機会に、もっと文化的要素を加えてできなかったのかと思います。</p> <p>通りを今後どのように市民が使って、文化的な楽しい街にできるかを考慮してほしかったです。アルティエという画期的な空間が生まれてうれしく思います。ただ、同時に周辺との関係も配慮してほしかった。札ノ辻クロスビルもエントランスは広く高く良い空間ですが、呉服町通りとの関連がもっとあれば良かったと思います。これからでもできます。再開発は街区内だけではなく、その周辺たとえば、葵スクエアに接したエリアの場合などは大変重要です。既存の青葉公園エリアにとらわれずもっと青葉シンボルロードを島状態から陸続きして、人々がまち劇も楽しめる空間を作るべきです。</p> <p>街は劇場課ができたときに、街なかで演技や演奏などが外国のようにいつでも行われるかと期待したのですが、さほどでは無かった。もっとやってほしい。呉服町通りと七間町通りはほこ道という歩行者優先の道に指定されました。行政は空き店舗対策を考えてくれていますが、テナントの援助、補助金などでは無理だと思います。まち劇がなにかしら仕掛けてほしい。昨年末クリスマス行事で呉六ハニスクでジャズの演奏がありました、凄く良かったです。道行く人が足をとめて楽しんでいました。よく駅地下の広場でも交響楽団の有志が演奏したりするのを見かけました。なかなか劇場へ行かないと見れないバイオリンなど耳に残る素敵な音色です。そこで感じたことは演奏者が暗いんです。フラットな場所でステージなどはないので見えにくいのですが、それより照明があれば10倍良かったんじゃないかと思いました。演奏する場所の天井灯のところにいくつかLEDスポットがあれば、是非付けてください。</p> <p>いろいろな文化施設の紹介がありますが、匠宿は載っていませんでした。近年創造社さんが変革したようで、素晴らしい、文化体験の場所だと思います。</p> <p>オクシズ材の活用ですが、市長室前のエリアにたくさん使われていて豪華ですね。もっと市民が触れられるところがあればと思います。東京オリンピックで使われた木材が戻ってきていると聞きました。そういうものも歴史の一部です街中で利用されたらとおもいます。</p> <p>葵スクエアですが、いまテディーベアがありますが、そこに向かってエリア内をそういった木材でベンチをコンサート会場のように並べてみてはいかがでしょうか。実験的にでも季節の良いときに、テディーベア部分を自由ステージにして、いつも気軽に何かやってる、ベンチはそれを見る人ばかりでなくただ、座って休憩してたり、コーヒーのんでたり、おしゃべりしてたり、街なか広場風に、何もやってなくてもいいんです。音の問題はあると思いますのでスピーカーアンプを使うものは小さくするとか。</p> <p>いろいろ述べさせていただきましたが、もしかしたら的外れたものかもしれませんが、何かのご参考になれば幸いです。</p>	<p>いただいたご意見への回答</p> <p>*道路のバリアフリー化や文化的要素の追加については、同時期に策定予定である「第3次静岡市のみちづくり計画」で推進する方針です。本計画と当該計画とは連動する要素があると考えており、足並みをそろえて取り組む事でより豊かな成果を生じさせていきます。</p> <p>*施策1、施策6ではあらゆる場、あらゆる人が文化に触れる機会の創出や表現者としての活躍の場を提供していきます。多彩なジャンルの文化事業が開催されるよう努め、市民の皆様により一層豊かな文化体験を提供できるよう、努めて参ります。</p>

第2期静岡市文化振興計画（案）に関するパブリックコメント 回答一覧

大カテゴリ	小カテゴリ	No.	カテゴリーNo.	3. 第2期静岡市文化振興計画案について、自由にご意見をお書きください。	いただいたご意見への回答
	その他全般	82	4	<p>今年の12月3日放送のNHK番組「ブラタモリ」において、タモリは「静岡に降りたことがない。静岡に行こうって人はいないでしょ」と暴言を吐いたが、その言葉が全国の人々の実直な感想のように思われる。静岡って魅力がないんですよ。日本平から眺める富士山、三保の海岸から眺める富士山、静岡おでん、臨濟寺そうしたものしか思い浮かばない。本市固有の地域に根差した文化に大道芸を記載しているが、大道芸は静岡を活性化しようとした天野進吾氏が静岡市長のときに発案し実施した事業である。天野進吾氏のように発想豊かで地域社会を活性化させようとしたように、リーダーシップを発揮し新しい静岡市を創生する人々が多く出てきて欲しい。そして、そうした発想を発信する人々の芽を摘まないでいただきたい。概要版に「柔軟性のある体制」とあるが、SNSでの本市の紹介（歴史・食文化など）や若者を中心にした意見交換会などを通じ市役所の体制を一新させ、新たな血を注げるような新たな体制づくりを実践してもらいたい。計画案は8年に亘る抽象的な核になるものであるので致し方ないが、より具体的なものをパートナーの文化振興財団と一緒に肉付けして大胆な発想で展開して欲しい。型にハマった発想ではなく、広く全国・世界に目を向けた集客力のある街づくりやイベントの開催を求めたい。広報しずおかを見るたびに人口が減少している様は、それだけ魅力がない街だという証左でもある。是非、活性化する肉付けを求めたい。</p>	<p>本市の文化的な魅力を広めていくため、施策4・5では「しずおか文化」の保存・継承・発信により本市内の魅力向上を図っていこうと考えています。いただいたご意見を基に、今後の事業展開を検討して参ります。</p>
文化施設について	文化施設全般について	83	1	<p>市民が誰でも集うことができる場所、誰でもが平等に楽しさを共感できる機会を得られる場所としての、施設ができると良いと思います。美味しいものがあるカフェや、人生の余暇を楽しく趣味をもって過ごせるスペースなど。また、様々な障害をもった方々も芸術鑑賞できるよう、バリアフリー、字幕や音声ガイドの導入もされることを望みます。</p>	<p>静岡市民文化会館の再整備をはじめ、必要に応じ文化施設の改修も検討していきます。いただいたご意見を基に、具体的な事業展開について検討してい参ります。</p>
		84	2	<p>コロナ禍以降、文化の定義、文化活動の有り様も変化しつつあるので、活動拠点となる市内施設もそのニーズに答えられるよう設備や展示物を更新していくことが必要だと感じる。施設のアップデートに伴い、新たな文化活動の情勢に対応したイベントが増え、より多くの若年層を引き込み、既存文化の継承や街中のにぎわいも活性化していくと思う。</p>	<p>静岡市民文化会館の再整備をはじめ、必要に応じ文化施設の改修も検討していきます。</p>
		85	3	<p>目標実現のためには、文化施設の整備も欠かせないと思うので、事業と並行して施設を整備してほしいです。</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開を検討して参ります。</p>
		86	4	<p>各美術館をもっと活用するような仕掛けを計画できると良いと思います</p>	<p>いただいたご意見を基に、具体的な事業展開を検討して参ります。</p>